

金属下地断熱防水工法で『ビスの緩み・抜けを抑制する』

専用固定システム「チューブワッシャー」仕様の開発

平均約20%、最大約30%、ビスにかかる水平方向の荷重を低減(当社従来工法と比較)

防水材メーカーのアーキヤマデ株式会社(本社:大阪府吹田市 代表取締役社長:山出満)は、塩ビ樹脂系防水シート「リベットルーフ」専用の、ビスの緩みや抜けを防止する専用固定システム「チューブワッシャー」仕様を開発しました。

「チューブワッシャー」を用いて、「リベットルーフ」防水シートを下地(金属屋根)に固定した場合、従来工法と比較して平均で約20%、最大で約30%、ビスにかかる水平方向の荷重を低減するという結果を得ています(別添資料を参照)。この結果より、屋上面に吹く風の力がビスに伝わるのを低減し、その結果、ビスの緩みや抜けを抑制することが期待できます。

また、断熱材収縮によるビスの飛び出しを抑制し、踏み抜きの危険性を低下させます。



※「チューブワッシャー」と「IH断熱ディスク」は、リベットルーフ防水シートを用いた、金属下地断熱防水工法専用の固定具です。

【主な特長について】

- ・ビスにかかる水平方向の荷重を軽減(現行仕様と比較して、平均で約20%、最大で約30%軽減)
- ・断熱材の収縮によって生じるビス飛び出しを防止し、ビスの踏み抜き事故の危険性を減少させます。
- ・ヒートブリッジを防止します。
- ・専用固定具(IH断熱ディスク)端部の防水シートにかかる集中荷重を緩和します。

上記製品の発売開始日

2016年3月発売(予定)

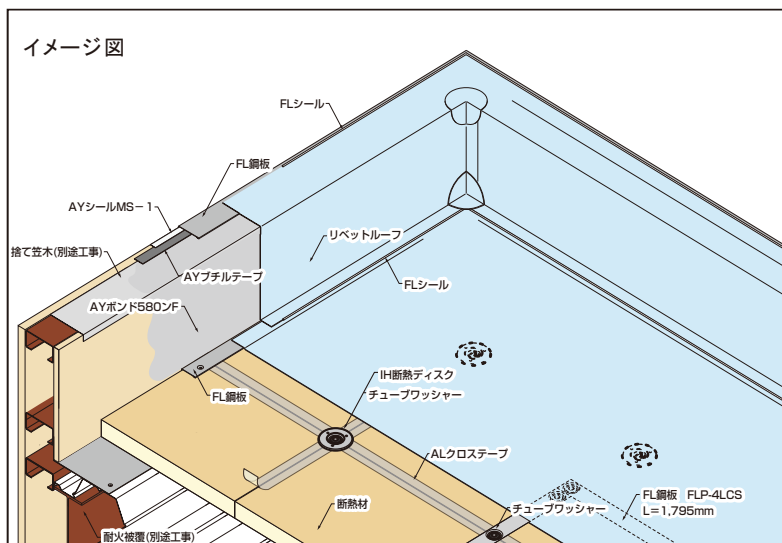
【本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先】

アーキヤマデ株式会社 技術開発本部 企画課 担当:三柵(ミマス)

電話:06-6385-1066 FAX:06-6338-6028 Eメール:mimasu-k@a-yamade.co.jp

(別添資料)

■ 「チューブワッシャー」仕様を採用したリベットルーフ防水システム(金属下地断熱防水工法)イメージ



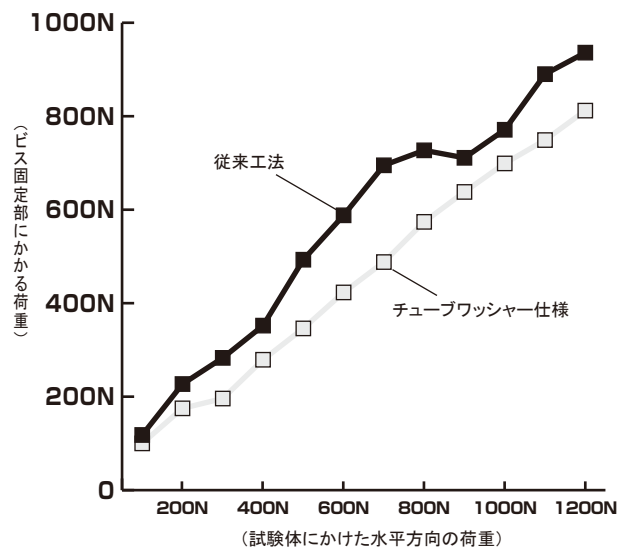
「チューブワッシャー」を用いた「リベットルーフ」防水システム(金属下地断熱防水工法)は、新築工事はもちろん改修工事にも対応可能です。

(断面のイメージ)



■ ビスにかかる荷重が軽減される点についての検証試験結果

当社の従来工法(ビスのみを使用した場合)と、「チューブワッシャー」を用いた工法において、水平方向に荷重をかけて、下地(金属屋根)に対してビス固定している部分にかかる水平方向の荷重を比較する検証試験を実施しました。試験結果は次の通りです。



【試験方法・条件】

○試験機関: 当社にて実施 ○試験方法: 金属下地に断熱材(50mm)を敷設。塩ビ樹脂系防水シート「リベットルーフ」をIHディスクと当社標準仕様のビスで下地に固定した試験体と、IH断熱ディスクにチューブワッシャーを装着したものを当社標準仕様のビスで下地に固定した試験体を用意。それぞれの試験体に対して、上グラフで示した水平方向の荷重をかけ、ビスの下地に対する固定部分にかかる荷重を測定、比較した。

【会社概要】

名称: アーキヤマデ株式会社 本社所在地: 大阪府吹田市江の木町24-10

創立: 昭和31年3月5日 資本金: 8500万円 代表取締役: 山出 満 従業員数: 135名(2014年4月時点)

ホームページアドレス: <http://www.a-yamade.co.jp>